

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉市中央区中央2丁目計画 新築工事	階数	地上15F
建設地	千葉県千葉市中央区中央2丁目7番2 他2筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	320 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2023年11月1日
敷地面積	613 m ²	作成者	株式会社 安宅設計 榊原 亮演
建築面積	410 m ²	確認日	2023年11月1日
延床面積	4,165 m ²	確認者	株式会社 安宅設計 榊原 亮演



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 当該地は千葉都心エリア(千葉市都市計画マスタープラン)に位置しながらも、戦前から千葉の代表的な華街として栄えた敷地界隈は、レトロとモダンが重なり合う場所です。無機質なグレーベースに有機的な木質感あるアクセントを入れレトロとモダンを表現すると共に、花街の風情であった「黒壁横丁」の黒壁のイメージを基壇部に採用し路地へと引き込む地域に馴染むデザインとしました。		その他 0
Q1 室内環境 専有部分について、断熱等性能等級4を超える性能を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、階高にゆとりを持たせるなど、建物のサービス性能の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4を超える性能、BEI=0.72としている。	LR2 資源・マテリアル LGS下地やノンフロンの断熱材を採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率77%とし、光害抑制に配慮した設計としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される